

電気部 ロボコンin信州 2部門で入賞 マイコンカー北信越大会へ

2023年(令和5年) 11月1日 水曜日

南 信 州 新 聞

OIDE 長姫電気部

ロボコンin信州

10月6、7日に下諏訪町で開催された真工業高等学校ロボコンin信州で、飯田OIDE長姫高校の電気部が躍進した。マイコンカー部門で優勝者を含む3人が上位入賞し、キャリア部門でもアイデア賞を受賞した。

マイコンカー部門では、いずれも電子機械工学科の宮嶋一希さん(3年)が優勝、小木曾太論さん(同)が3位、増田陽さん(1年)が特別賞を受賞した。細かな調整を繰り返しながら、より速く、かつ安定して走るマシンに仕上げるのがポイント。昨年も優勝し、2連覇を果たした宮嶋さんもその点に苦慮したという。大会に向けて調整を繰り返したものの、直前まで思い描いた結果が出ず、結局は昨年のモデルでの出場となった。「去年のような走りができれば上位入賞は可能だと思っていたが、まさか優勝できるとは。安定して走れたのが勝因」と大会を振り返った。

今年25、26日には長野市で北信越大会が開かれる。宮嶋さんは昨年2位で、全国大会はベスト16だった。3年生として最後の大会

マイコンカー・キャリア部門で躍進



ロボコンに出場した飯田 OIDE 長姫電気部

で、昨年以上の好成績を目指している。

小木曾さんも昨年の北信越5位、全国ベスト16を超える成績を目指し、「前例のない調整を施している。3年間の集大成としたい」と意気込む。1年生の増田さんは「完走を目標に少しでも上の順位を狙いたい」と来年につなげる力試しの大会にする構えだ。

キャリア部門は、リモコン型と自立型ロボットを操り、コース内での運搬や停止などの操縦技術の正確性を競うチーム戦。同校からは電気電子工学科の小嶋彬英さん(3年)、社会基盤工学科の小澤歩夢さん(同)、電気機械工学科の小柴卓真さん(同)、同科の溝口空翔さん(2年)が出場し、アイデア賞を受賞した。副部長の小嶋さんは「正直、入賞するとは思わなかった。驚きの方が大きかった。自分たちの力を信じて取り組んできて良かった」と話した。キャリア部門は3年生にとっては最後で、小嶋さんは「多くの知識と経験を得て、思い出深い部活動になった」と感慨深そうに振り返っていた。



高校野球 秋季地区交流戦 快勝スタート

O長2勝しリード

高校野球の秋季交流戦

飯伊地区の高校野球秋季交流戦(飯伊地区高校野球連絡会主催)は10月28、29日、綿半飯田野球場で計4試合を行った。

飯伊地区の高校野球秋季交流戦(飯伊地区高校野球連絡会主催)は10月28、29日、綿半飯田野球場で計4試合を行った。

飯伊地区の高校野球秋季交流戦(飯伊地区高校野球連絡会主催)は10月28、29日、綿半飯田野球場で計4試合を行った。

交流戦はOIDE長姫、飯田、松川、風越、下伊那農と南信連合(富士見、茅野、岡谷東、箕輪進)の総当たりで順位を決め、4日に決勝、3・4位決定戦、5・6位決定戦を予定する。

交流戦はOIDE長姫、飯田、松川、風越、下伊那農と南信連合(富士見、茅野、岡谷東、箕輪進)の総当たりで順位を決め、4日に決勝、3・4位決定戦、5・6位決定戦を予定する。

交流戦はOIDE長姫、飯田、松川、風越、下伊那農と南信連合(富士見、茅野、岡谷東、箕輪進)の総当たりで順位を決め、4日に決勝、3・4位決定戦、5・6位決定戦を予定する。

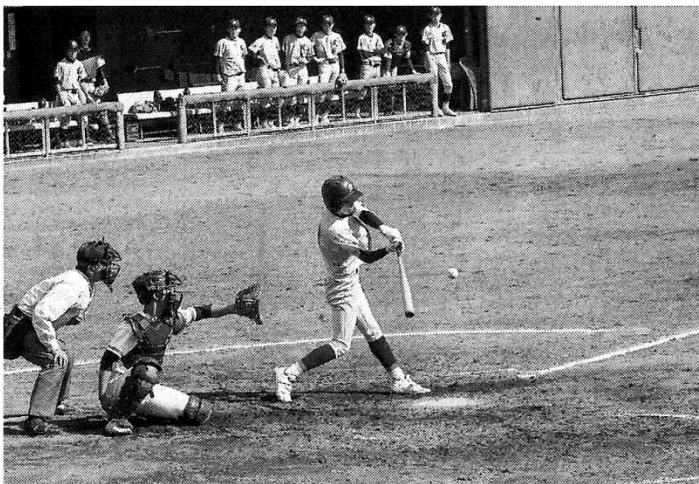
交流戦はOIDE長姫、飯田、松川、風越、下伊那農と南信連合(富士見、茅野、岡谷東、箕輪進)の総当たりで順位を決め、4日に決勝、3・4位決定戦、5・6位決定戦を予定する。

交流戦はOIDE長姫、飯田、松川、風越、下伊那農と南信連合(富士見、茅野、岡谷東、箕輪進)の総当たりで順位を決め、4日に決勝、3・4位決定戦、5・6位決定戦を予定する。

交流戦はOIDE長姫、飯田、松川、風越、下伊那農と南信連合(富士見、茅野、岡谷東、箕輪進)の総当たりで順位を決め、4日に決勝、3・4位決定戦、5・6位決定戦を予定する。

交流戦はOIDE長姫、飯田、松川、風越、下伊那農と南信連合(富士見、茅野、岡谷東、箕輪進)の総当たりで順位を決め、4日に決勝、3・4位決定戦、5・6位決定戦を予定する。

交流戦はOIDE長姫、飯田、松川、風越、下伊那農と南信連合(富士見、茅野、岡谷東、箕輪進)の総当たりで順位を決め、4日に決勝、3・4位決定戦、5・6位決定戦を予定する。



投手戦を繰り広げる松川一風越

OIDE 長姫

前身から49年ぶりV

高校ラグビー 飯田との接戦制し聖地花園へ



飯田勢同士がぶつかった高校ラグビー県決勝



優勝した飯田 OIDE 長姫

花園につながる第103回全国高校ラグビー大会県予選決勝は3日、長野Uスタジアム(長野市)で行い、飯田OIDE長姫が28-24で飯田を破った。同校の

優勝は、前身の飯田長姫が制した1974(昭和49)年大会以来で49年ぶり3度目。野牧聖太主将は「全国の舞台でも自分たちの力を発揮す

と花園へ向けて目標を掲げた。飯田勢同士の決勝は2008年の飯田一下伊那農業以来15年ぶり。青空の下、青のジャージのOIDE長姫と白と緑のジャージの飯田が激突した。

OIDE長姫は前半6分、SO後藤慶のトライで先制。持ち味の展開力を生かしたラグビーで得点を重ねた。前半を21-7で折り返し主導権を握ると、後半10分には後藤慶がこの試合3つ目のトライを決めて突き放した。終盤は飯田が得意のモール攻撃で猛追するが、OIDE長姫は粘り強い守備で逆転を許さず。悲願の花園への切符をつかんだ。

スタンドには選手らの保護者や両校OB、地元ラグビースクール「南信州ジュニア」の中学生らが駆け付けて選手たちに声援を送り、ノースサイドの笛が鳴り響くと歓声が沸き起こった。

就任6年目の中村光希監督は「前半から想像以上にいいゲームをしてくれた」と選手をねぎらい、「この6年間、選手たちの頑張りやOB会などいろいろな人たちの支えがあり、その結果がこの代で出た」と卒業生や地域住民に感謝。花園に向けて「全国で簡単に負けるチーム作りはしてきていない」と自信をのぞかせた。

野牧主将は「多くのサポートがあり、1年間やってきたことを全部ぶつけることができた」と話していた。

前身の飯田長姫は1974年の県大会で優勝したものの、信静大会で静岡県の高校に敗れて花園出場を逃したため、花園出場は57年ぶり2度目となる。飯田は2年ぶり11度目の花園を狙ったが及ばなかった。

▽決勝 長野Uスタジアム
O長28(71-17) 24飯田
(4面に関連記事)

全国大会は12月27日に大阪府東大阪市の花園ラグビー場で開幕する。

掲載記事提供: (株)南信州新聞社

対策徹底し、リード作る

OIDE 長姫 昨年の雪辱晴らすV

「春の大会(県高校) うと予想していた」得意とするモールを総体のころから決 と語るOIDE長姫 組ませず、反則を少 勝はうちと飯田だろ の中村監督。飯田が なくすることを徹底



展開力を生かしリードをつかったO長

して前半で大きなり え、本年度は3年生 ードを作り、逃げ切 が日替わりで主将を つた。昨年、48年ぶ りに出場した決勝で の決勝の主将に中村 岡谷工に敗れた雪辱 監督が指名したのは CTB野牧。昨年一 台への道を開いた。 番悔しい思いをした 昨年の岡谷工戦で 選手」と理由を語っ た。



モールで攻める飯田

主将が体調不良で出 場できず、チームが 本来の力を出し切れ 前に骨折。ベンチで なかった反省を踏ま チームの敗戦を見届

「もう少し時間があれば」 飯田 モール武器に猛追もおよばず

けた。「一番近々で見ていただけに、本当に悔しかった」と語り、前日に主将に指名されたときは「びっくりした」としつつも「昨年出られなかった分もぶつけた」と話し、試合終了の笛とともに喜びを爆発させた。3つのトライを奪ぎ、4つのコンバディオンキックも全て決めて勝利の立役者になった2年生のSO田と岡谷工の2強を崩したいと始まったが、7人がつないでくれたから今がある。OB会や保護者らの熱心なサポートにも感謝し、57年ぶりの花園へ気を引き締めた。

OIDE長姫は、田は得意とするモール攻撃で最後の最後で決勝で17-42で大敗した相手だった。飯林監督は「春からの



健闘をたたえ合うO長と飯田の選手



積み重ねで競ることができた」と選手をたたえた。モールは小林監督が就任した3年前から一貫してチームの武器だ。部員数が少なく、勉強との両立のため練習時間も限られる中、モールは緊張していても力が出せる。花園でも通用するラグビーを心掛けた」と指導を徹底。1年生の時に花園を経験したナンバPR奥田を中心に組む形で決勝でも無類の強さを発揮した。それだけに小林監督は「もう少し時間があれば」と悔しげだった。鈴木主将は「最後まで接戦だったので悔しいが、3年間やってきたことをやりきれた」と充実感を出した。新チームには決勝を経験した1、2年生15人が残る。春から大きく成長した。次こそは花園で活躍してほしい」と後輩たちにエールを送った。

吹奏楽部

定期演奏会を開催

南 信 州 新 聞

2023年(令和5年) 11月7日 火曜日

OIDE長姫高

多彩なジャンルの曲披露

吹奏楽部 定期演奏会

飯田OIDE長姫

高校の吹奏楽部は4日、第11回定期演奏会を飯田文化会館で開いた。在校生や保護者、卒業生ら多くの観客が見守る前で、この日に向けて練習を積んだ多彩なジャンルの曲を披露した。

3部構成のステージで、1部に同部の単独演奏、2部にテイスニーの名曲を演奏しながらステージ上を縦横に動くステージドリル、3部にOGとの合同ステージを展開した。



飯田OIDE長姫高吹奏楽部の定期演奏会

第1部では映画音楽やJポップ、今年のコングールで演奏した曲など計5曲を披露した。ロックバンド・モンゴル800の「小さな恋のうた」では、ノリの良いアップテンポな曲調と、それに合った一体感ある演奏で客席を魅了。自然発生的に大きな拍手が湧きおこる盛り上がりを見せた。コングールの自由曲で使った「春の

「私たちに」と思

掲載記事提供: (株)南信州新聞社

丸山地区文化祭 ピザ焼き体験協力

2023年(令和5年) 11月8日 水曜日

南信州新聞

多彩な発表でにぎわう

丸山地区文化祭 高校生参加しピザ焼きも

飯田市丸山地区の文化祭が4、5の両日、丸山公民館で開かれた。地区内の子どもから高齢者までが多彩な作品を展示し、活動の成果を発表。高校生も参加したピザ焼き体験もあり、多くの人でにぎわった。

丸山小学校の4～6年生30人でつくる金管バンド「かざこしジュニアバンド」の演奏で開幕。約100人が集まり、くす玉を割って開催を祝った。



多くの来場者の前で演奏する丸山小のかざこしジュニアバンド

形で元気いっぱいに演じた。4日は午後6時からの発表もあり、最後は丸山行進曲を皆で踊った。館内では20以上の団体が作品を展示。特別展示として丸山小開校150周年の記念写真展があり、特別企画として和紙で星をつくる体験もあった。

飯田OIDE長姫高校商業科3年生の地域人教育丸山班も参加し、まるやま石窯部との初コラボで、公民館にある石窯を使ったピザ作り体験を企画。参加者は自分でトッピングした出来たてのピザに喜び、同校の山村珂乃さん(18)は「地域のひとと新しいことに取り組めて自分も楽しかった」と話した。

公民館前では焼き鳥やポップコーンなどを販売。飯田市赤十字奉仕団丸山分団が綿あめを作り、パン焼き体験もあった。

藤本清明公民館長は「コロナの影響で展示は減っているが、多くの人に来場していただきありがたい。1年に1度成果を発表し、人に見てもらう場は大切。地域の活力につながる」と話していた。

高校野球 飯伊地区秋季交流戦

優勝

OIDE 長姫が優勝
高校野球の秋季交流戦

飯伊地区の高校野
球秋季交流戦(飯伊
地区高校野球連絡会

主催)は4日、決勝
を綿半飯田野球場で
行い、OIDE長姫
が7-3で松川を下
した。

OIDE長姫は終
盤の好機を逃さず得
点へと結び付け、粘
る松川を退けた。井
口監督は「狙って取
れた優勝」と評価し
た一方、「個々の勝負
となるとまだまだ」
と冬場に向けて課題
を指摘した。

▽決勝
OIDE長姫

0100000337
0000000033

松川

(O長) 畔上、前沢

古山

(松川) 原一寺沢



優勝したOIDE長姫

▽3位決定戦

風越

0011000035
010000110035

飯田

(風越) 後藤、宮沢

池内

(飯田) 松村、赤羽

▽5位決定戦

南信連合

801000004
40100110004
1113

下伊那農

(連合) 小原、竹村

征矢

(下農) 原、熊谷龍

伊藤

▽3日の結果

松川

00300210006
50000000005

下伊那農

(松川) 原、下島

原一寺沢

(下農) 熊谷嘉、大
野、近藤、伊藤

南信連合

1000000102
000000024×6

飯田

(連合) 征矢、羽生

(飯田) 山崎、佐々

木、赤羽

高校
野球

BASEBALL



【ラグビー部】

上郷なかよし保育園でラグビー教室 園児と共にラグビーを楽しむ

2023年(令和5年) 11月17日 金曜日

南 信 州 新 聞



OIDE長姫高ラグビー部が園児と交流

園児の要望を受け、部員らはスクラムとラインアウトを披露。高くジャンプしてボールをキャッチする姿を間近で見た園児たちは「すごい」と拍手を送った。

部長で3年の秋元航太郎さん(18)は「今日の思い出がラグビーを始めるきっかけになったら」と期待していた。

花園に出場する飯田OIDE長姫高校ラグビー部は13日、飯田市上郷飯沼の上郷なかよし保育園でラグビー教室を開いた。部員37人が園児と交流しながらラグビーの楽しさを伝え

た。小さいうちからラグビーを身近に感じてもらおうと開き、年長園児34人が参加。2チームに分かれて相手陣地のボールを奪い合うゲームや、ボールを抱えな

がら障害物をかわして走る競走などを実施した。ボールの持ち方や投げ方を部員から教わった園児たちは、楕円形のボールの扱いに苦戦しながらも元気に園庭を駆け回

ってラグビーの魅力を感じた。清水律希君(6)は「ボールを持って走るのが楽しかった」と笑顔を見せた。

花園出場のOIDE長姫 保育園でラグビー教室

競技の楽しさを伝える

高校エコカーレース総合大会で 祝 優勝 2年ぶり6回目

2023年(令和5年) 11月23日 木曜日

南 信 州 新 聞

飯田OIDE長姫高 エコカーレース大会で優勝 チャレンジ大会でも3人が入賞

飯田OIDE長姫高校の原動機部が10月と11月に開かれた2つのエコカー全国大会に出場し、それぞれで好成績を収めた。

11日に愛知県豊橋市で開かれた「第21回高校エコカーレース総合大会」では、機械工学科2年の原煌弥さんがオープンクラス部門(15台エントリー)に出場し、優勝した。

車体構造素材やモーターに指定がないクラスで、50分間の競技時間内に周回した回数で競った。過去、7回出場のうち5回の優勝を誇る同部門だが、昨年は3位と、やや不本意な結果だった。雪辱に燃える今回



豊橋市で開かれた高校エコカーレース総合大会



栃木県茂木町で行われた Ene-1 MOTEGI GP

は2位に1周差をつける大差での勝利。常勝チームの復活を印象つけた。原さんは「先輩の雪辱を果たすことができた」とほっとした表情を浮かべ、「大きなトラブルもなく走り切れたのはチームの勝利だ」と胸を張った。

10月15日に栃木県茂木町で開かれた「Ene-1 MOTEGI GP」では、KV-40チャレンジ全国大会(エントリー71台)に参戦。充電式単3乾電池40本を動力源とする車両で、タイムアタックと定められた時間を走行する決勝レースの合計ポイント

差でフィニッシュに入った。途中まで1位を走るラップで抜かれ、5秒差でのフィニッシュに入った。

ユとなった。初出場2位の結果について「スタート前はすごく緊張していたが、走り始めたら無我夢中になり、気がついてたらトップを走っていた。自信になる大会だった」と次は頂点を目指す。車両重量制限なしのカテゴリー(49台エントリー)では、電子機械工学科2年の相山隼大さんが高校部門3位(総合5位)、原さんが高校部門4位(総合6位)に入賞した。相山さんは「悔しい思いはあるが、慣れない雨中での走行で、結果を残すことができたことは良かった」と振り返った。

使用しているマシンは先輩から引き継がれているもの。傷んだ箇所を修繕したり、メンテナンスを行いながら、部の伝統を紡いでいる。次は12月に大阪で開かれる大会に臨む予定。

パソコン技術部 エス・バードで地域貢献活動

子ども科学工作教室の講師を務める

高校生らが講師役に

飯田市で子ども科学工作

飯田市工業課などが幹事を務める「子ども科学工作教室運営協議会」主催の科学工作教室がこのほど、エス・バードで開かれた。飯田下伊那地域の小学生63人が参加。高校生や地元企業の社員からアドバイスを受けながら工作し、科学の魅力に触れた。

1992年から継続している教室で、本年度2回目。

飯田OIDE長姫高校や夏目光学、天龍、KOA、シチズン時計マニファクチャリング、飯田精密などが協力し、天体望遠鏡と燃料電池カーのテーマごとキットを製作した。子どもたちは夢中

になって組み立て、完成後は実際に動き、満足そうに作品を手にする児童の姿も。天体望遠鏡に挑戦した児童は「接着のところが難しかったけど遠くまでよく見えてうれしかった」と語り、燃料電池カーを選んだ児童は「細かいところを組み立てるのが難し

かったけどうまく動いてよかった」と話していた。



天体望遠鏡を作成